

# 08年度アカデミー・アンケート調査結果報告

2009年1月26日発行

～ ごあいさつ ～

このたびの「08年度アカデミー・アンケート調査」に際しましては、受講生の皆様には多大なご支援をいただき、誠に有難うございました。お陰さまで回答総数 951件を数えNPOと友の会の合同のアンケート調査は無事終了し、ここにご報告することができました。アカデミーの置かれている状況をしっかりと把握し、皆様のご意見・ご要望を日々の活動に十分反映してまいります。今後ともよろしくお願いたします。

NPO 法人かわさき市民アカデミー  
かわさき市民アカデミー友の会

## ★アカデミーの受講動機 → 「テーマが面白い」が50%!

### 1. アカデミーの受講動機 (質問8)

かわさき市民アカデミー(以下アカデミーという)の受講動機は「テーマが面白い」が49.8%で第1位、続いて「生涯学習に関心があるから」が24.2%、「講師がよさそうだから」が19.6%でした。

### 2. 受講生状況

#### (1) 受講生はどこから通っているか。(質問1)

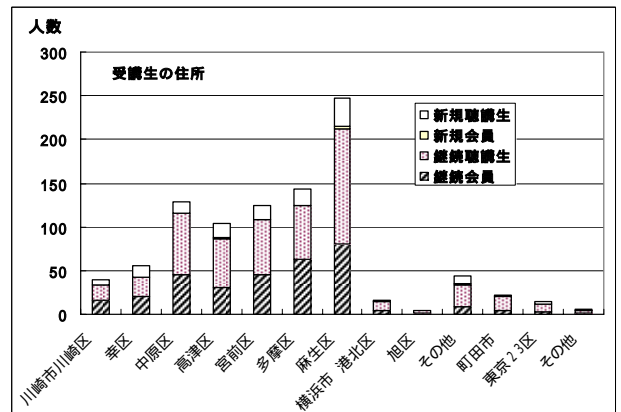
1位が麻生区で26.0%、2位多摩区16.9%、3位中原区13.6%の順で、横浜市65人、町田市22人でした。

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	横浜市	町田市	23区	その他	合計
受講生数	40	55	129	104	125	144	249	65	22	14	6	951

#### (2) 何才代が多いか(質問2)

1位が、60代が44.3%、2位は70代が34.2%でした。

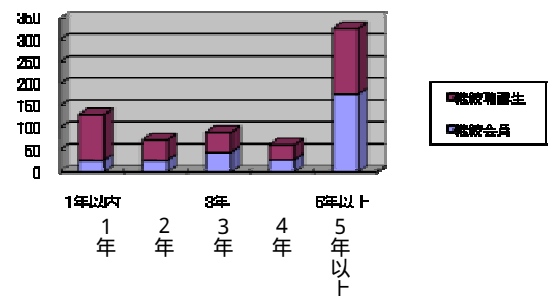
	継続会員	継続聴講生	新規	比率
20から40代	2	25	13	4.2%
50代	27	64	37	13.4%
60代	158	202	61	44.3%
70代	125	173	27	34.2%
80代以上	16	20	1	3.9%
合計	328	484	139	100%



#### (3) 継続年数はどのくらいか(質問4)

5年以上が326人で47.9%。4年未満の継続年数は2年です。

	継続会員	継続聴講	計	比率
1年以内	27	103	130	19.1%
2年	27	46	73	10.7%
3年	45	45	90	13.2%
4年	28	34	62	9.1%
5年以上	177	149	326	47.9%
合計	304	377	681	100%



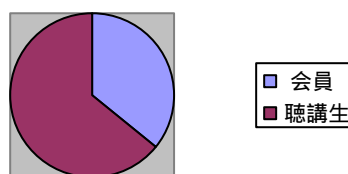
#### (4) 会員と聴講生の比率(質問5)

会員と聴講生の比率です。

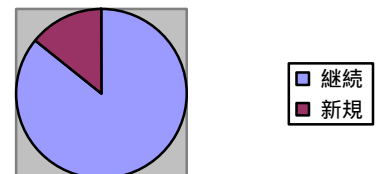
会員 339人 35.9%

聴講生 606人 64.1%

会員と聴講生の比率



継続と新規の比率



#### (5) 継続と新規受講生の比率

継続 805人 87%

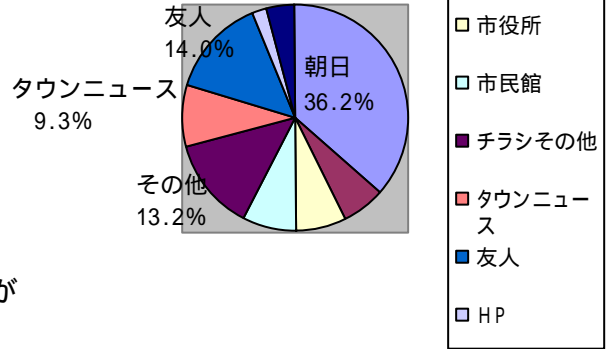
新規 132人 13%

### 3. アカデミーについて

(1) アカデミーはどこで知ったか (質問 6 / 新規受講生)

新規受講生の場合の情報源は募集チラシ (朝日新聞) の折込みの 44 人で 1 位でした。

募集チラシ合計は 91 人、タウンニュースは 12 人です。



(2) アカデミーのよさはどこにあるか (質問 15 / 複数回答)

「よい講師がいる」が 551 人で 1 位、以下「生涯学習できる」472 人、「授業料がやすい」457 人の順。

「専門性がある」256、「仲間ができる」181、「同世代が多い」160 人でした。

(3) アカデミーの満足度は (質問 13)

講師について

「満足」617 人、77.7%、「普通」20.7%でした。

カリキュラム内容について

「満足」520 人、72.2%、「普通」26.4%でした。

(4) カルチャーセンターや市民大学などとの比較

カルチャーセンターなどと比較して

アカデミーの受講料は? (質問 14-4)

「安い」28.3%、「普通」66.95%、「高い」4.7%でした。

### 4. NPO について

(1) NPO のホームページは知っていたか (質問 7)

継続の会員受講生、聴講生計 837 人の 59.5% は「知らない」です。

(3) 学園トップとの話し合いについて (質問 16)

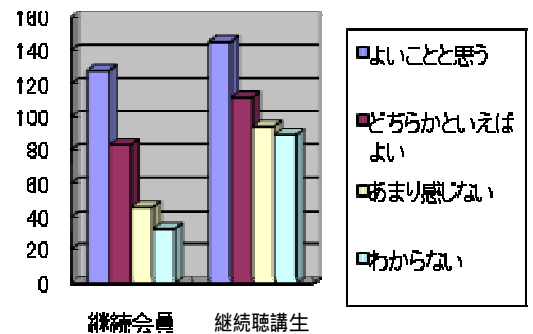
730 人のうち 468 人、64.1% が「どちらかといえばよい」以上でした。

	継続会員	継続聴講生	計	比率
よいことと思う	128	145	273	37.4%
どちらかといえばよい	83	112	195	26.7%
あまり感じない	46	94	140	19.2%
わからない	33	89	122	16.7%
計	290	440	730	100%

(2) 学園祭について (質問 11)

学園祭に関心がありますか

全継続の受講生の「少しある」以上は、75.3%です。



(4) NPO は 2011 年に独立することについて (質問 17-1)

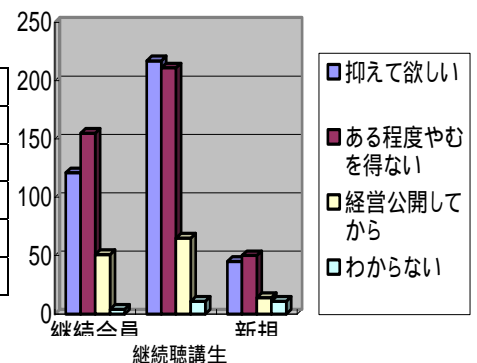
継続受講生で、「聞いたことがある」以上は 62.7% でした。

(5) 授業料の値上げについて (質問 17-2)

継続受講生の「抑えてほしい」が計 383 人、40.1%、

「ある程度やむをえない」が計 416 人、43.6% でした。

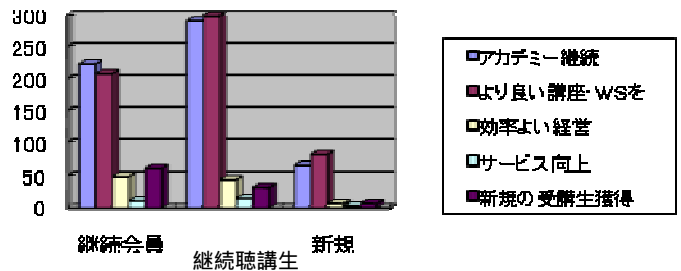
	継続会員	継続聴講生	新規	計	比率
抑えて欲しい	121	217	45	383	40.1%
ある程度やむを得ない	155	211	50	416	43.6%
経営公開してから	51	65	14	130	13.6%
わからない	4	11	11	26	2.7%
継続聴講生	331	504	120	955	100%



(6) NPO への期待について (質問 17-3 / 複数回答)

継続受講生の「アカデミー継続」が計 514 件、431.7%、  
「より良い講座・WS」が計 506 件、41.0%でした。

	継続会員	継続聴講生	新規
アカデミーの継続	223	291	67
より良い講座・WS	208	298	82
効率のよい経営	49	44	7
サービス向上	11	15	3
新規の受講生獲得	62	32	7
計	553	680	166



(下からの続き)

## 2. 全体について (質問 19)

### (1) 場所的条件

- ・プラザの場所が遠く不便 会場をもっと便の良いところに。
- ・地理的に会場が武蔵小杉に集中しています。もっと新百合丘会場、多摩センター(向ヶ丘)会場も増やしてください。
- ・身近に学ぶ場があることはとてもうれしい。

### (2) 講師や講座内容について

- ・横浜から来ているが川崎ならではの企画だ!
- ・良い講師をそろえることが全てです。
- ・不人気講座の原因を調べて欲しい

### (3) NPO に対して

- ・NPOの運営上の問題の公開。関心があがり、参加の動機になるのでは?
- ・NPOの独立は難しい、会場の確保を市に行わせるよう交渉すべし。
- ・多くに人が参加できることが大切。内容充実と受講生を増やす活動必要。(紹介制度など)
- ・初参加者に組織の説明を!
- ・地味に継続してほしい。

～～ 皆様のご意見・ご要望 ～～  
受講生の皆様のご意見・ご要望の概要は以下のとおりです。

### 1. NPO について (質問 17)

#### (1) 市に対して

- ・経済的に市は支援を!
- ・市は生涯学習を支援すべき。NPOも市に働きかけるべき。

#### (2) 講座や授業料について

- ・内容の充実。
- ・内容がよければ受講料は気にならない。
- ・値上げして、よい講師、充実の講座を望みます。
- ・受講生に協力依頼するのではなく学習推進員を育成。謝礼は1500円/回くらい。
- ・受講料を上げれば、他のカルチャーなどと同じになる。
- ・先生の支払が減ると来なくなる。
- ・自立に反対。
- ・経営努力・営業努力をしても値上げ必要なら値上げはOK。高いレベルの内容に費用負担は大切。
- ・NPO 理事の仕事・働き・活動が見えない

## 5. 友の会について

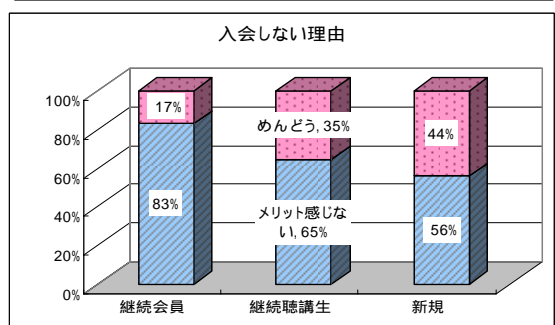
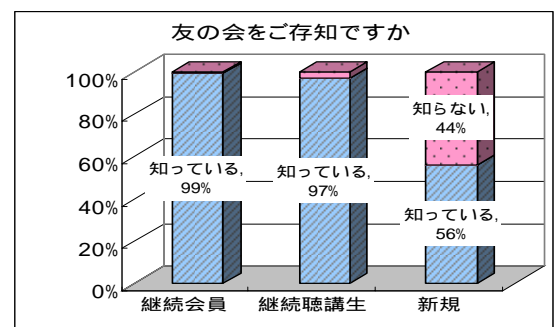
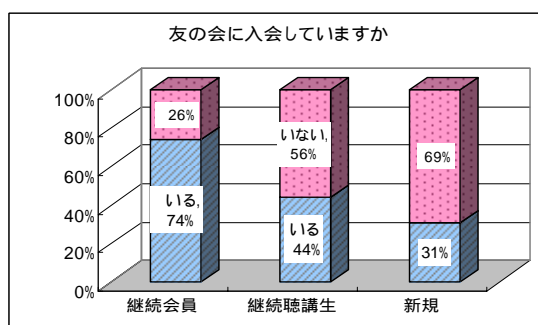
### (1) 友の会をご存知ですか(質問 18-1)

継続会員では、99%、聴講生でも 97%、後期入会の新規受講生でも 56%が友の会を「知っている」との結果でした。

### (2) 友の会への入会状況と入会しない理由 (質問 18-2,3)

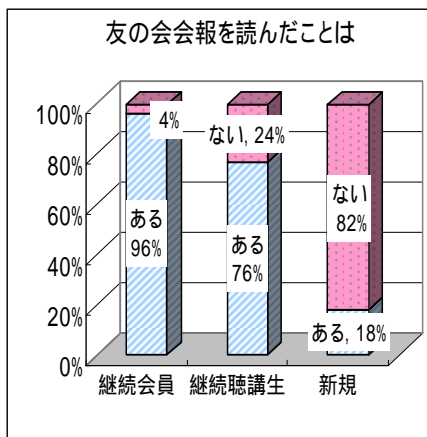
入会率は、継続会員は 74%、継続聴講生は 44%、新規は 31% でした。入会されていない受講生の入会しない理由は、「メリットを感じない」が

継続会員で 83%、継続聴講生では 65% でした。



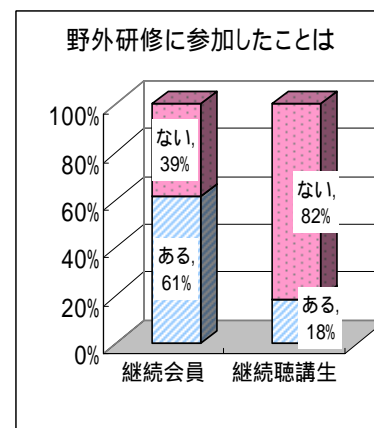
(3) 友の会会報について (質問 10-2)

継続会員の 96%が、継続聴講生の 76%が読んでいます。内容については、内容が「良い」と「普通」で、95%を占めています。



(4) 野外研修について (質問 12)

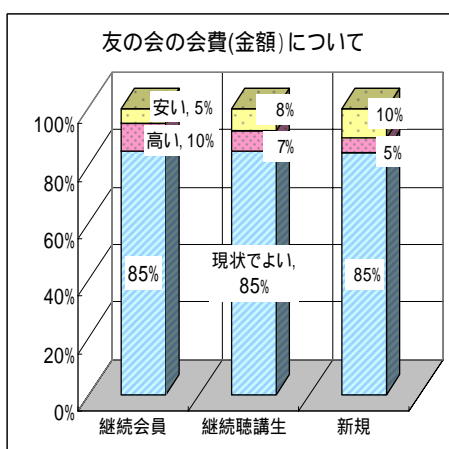
友の会の事業として最大のものです。参加経験は、継続会員の 61%、継続聴講生は 18%でした。



(5) 友の会の委員選出・会費について (質問 18-4,5)

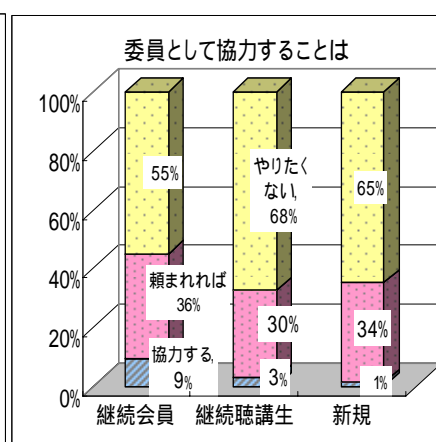
友の会の委員の選出については、会員の 85%、聴講生の 57%が「知っている」との結果でした。

また、会費金額については、「現状で良い」が、85%でした。



(6) 友の会の運営への協力について (質問 18-6)

友の会の運営への協力では、友の会の委員として「協力する」「頼まれれば」を含めて、会員で 45%が、聴講生では 33%が、協力するという結果でした。



(7) 友の会関係の自由記載意見 (件数)

友の会について (38 件)

受講料の年会費化や受講料と同時振込、友の会不要論やNPOとの合体、受講生全員の友の会加入論などが、各々数件ありました。

野外研修 (22 件)

野外研修先に関しては、製造工場・地下施設・造船所などの見学と鎌倉や里山など歴史と自然散策関連が各々数件ありました。

(8) 友の会関係まとめ

友の会について、本アンケートから読み取れることは、昨年来の広報活動の成果が出ており、友の会の認知度、会報の周知度が非常に高く、会報の内容の評価も高い結果でした。野外研修については、いただいたご意見も参考にして研修場所の選定を進めていきます。

会費の金額については、「現状で良い」との意見が大半でした。徴収方法などについては、振り込まれた金銭の把握と管理などに多くの手間がかかるため、現状の変更が困難な状況です。この件は、更に検討を進めますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

しかし、一方では、友の会に入会していない受講生の入会しない理由は、「メリットがない」が多数であり、今後のひとつの課題であります。

また、友の会委員として運営に協力する姿勢は、「頼まれればやる」まで入れると、会員が 45%、聴講生で 33%ありました。これらの方々が、まず気楽に参加していただけるような取り組みを考えていきます。

また、ご意思のある方は、お手数ですが現在の委員の方にご連絡いただくと幸いです。